

ビジネス分野における外来語「マネジメント」に関する一考察
—企業の年次報告書を分析対象として—A Study of the Loanword "Management" as Used in the Business Field:
An Analysis of Companies' Annual Reports

佐野 彩子

要旨

本稿は、ビジネス分野における外来語「マネジメント」の統語的、意味的特徴や類義語との相違を明らかにするとともに、ビジネス分野において外来語「マネジメント」がどのような特徴的な振る舞いをしているかを「現代書き言葉均衡コーパス」と企業の年次報告書（アニュアルレポート）を用いて分析した。「マネジメント」は、類義語の「管理」と比べ、企業やビジネスを「発展させる」というポジティブな意味が含まれているほか、企業の「経営者」自身を指す意味もある。またビジネス文書における修辭的特徴として「外来語＋漢語」の混種語には、前項の外来語が視覚的インパクトを与えることで、報告書のトピックをより効果的に提示し、要点を把握する一助となる「見出し効果」があると考えられる。一方で、より説得力のある説明や経営者自身から直接発せられる表現には、外来語よりも漢語表現が好まれていると推察される。

キーワード：外来語、マネジメント、ビジネス分野、管理、見出し効果

1 はじめに

筆者は修士論文において、ビジネス分野における語彙を明らかにすることを目的として、企業が作成している年次報告書（アニュアルレポート、以下 AR）に使用されている外来語を分析した。外来語「マネジメント」は出現頻度で上位 10 位¹ にランクインし高頻度語の 1 つであった。またビジネス分野において企業活動そのものを表すキーワードの一つであることから、その統語的、意味的特徴や修辭的特徴を明らかにしたいと考えた。

1.1 外来語「マネジメント」に関する先行研究

外来語を動詞にするときには「する」を付けてサ変動詞にするのが一般的であり（村木 1982・北澤 2012）、澤田（1993）では、「する」を付けて動詞化する外来語の参考²として「マネジメント（management）」の原語の動詞「マネージ（manage）」を挙げている。しかし、今回分析対象とした AR において名詞または複合名詞の一部として「マネジメン

¹ 高頻度語は、1 リスク、2 グループ、3 グローバル、4 システム、5 サービス、6 ニーズ、7 データ、8 ビジネス、9 コンプライアンス、10 マネジメントの順であった。

² 選定した日本語教育の為の外来語以外で「する」をつけて動詞化するものを参考として掲載している。

ト」は高頻度で使用されているのに対し、「マネージ」及び「マネージする」は一度も使用されていなかった。

「マネジメント」は、国立国語研究所の『「外来語」言い換え提案』で取り上げられた語彙の1つでもある。これは2002年から2006年にかけて、国立国語研究所が、公共性の高い場面における分かりにくい外来語を分かりやすくするための具体的な方策を類型化して提案したもの（陣内・田中・相澤 2012）である。言い換えの手引き（国立国語研究所「外来語」委員会 2006）によると、意味の説明には「経営や運営について組織立って管理すること」とあり、言い換え語として「経営管理」、またその他の言い換え語例には「運営管理」「管理」「管理者」が挙げられており、いずれも漢語の「管理」が含まれている点が目を引く。しかし、ビジネス分野において外来語「マネジメント」が高頻度語の1つであることを考えると、特に類義語である「管理」との相違を含む意味的特徴を明らかにすることは重要な課題であると思われる。

1.2 研究方法

分析対象には、『現代書き言葉均衡コーパス』（BCCWJ）と、ビジネス分野の資料として企業の年次報告書（アニュアルレポート、以下AR）を使用した。ARとは企業情報を開示するレポートの1つで、内容は経営者挨拶、事業概況、営業報告、財務内容、経営計画等を含む。対外的に公表され流通している資料であり、合法的な入手が可能であるほか、1年間の企業活動の報告資料という性格上、特定の事業や商品広報資料等よりも内容面で網羅性があり、直近の企業活動の実態を反映した語彙を得ることが期待できると考えた。選定した企業12社³のARから財務諸表や会計注記等の財務情報を除いた部分を分析対象範囲とし、形態素解析した。（形態素解析器にはMeCab-0.996、解析辞書にはUnidic-2.1.2（MeCab版）を）使用）12社の2013年3月期ARの総語彙数（延べ語数）429,610語から外来語36,116語（8.4%）を得た。助数詞等の数量名詞を除外した形状詞を含む普通名詞のうち、「マネジメント」は出現頻度順位が10位（1万語あたり5回）であった。これらの分析対象資料を基に、まず外来語「マネジメント」の統語的特徴、複合名詞、意味的特徴をみていく。更に類義語との比較から、ビジネス分野における外来語「マネジメント」の修辭的な特徴について考察する。

尚、表記に関しては「マネジメント」と「マネージメント」があるが本文中の表記は「マネジメント」に統一する。辞書の見出し語は「マネージメント」であるが、実際のARにおける表記は「マネジメント」が圧倒的に多く（98.5%）、カタカナ語の表記が実際の英語

³ 2014年4月時点で東京証券取引所の「TOPIXCore30」（時価総額・流動性の特に高い企業30社で構成された株価指数）に指定されている企業から主に製造業を中心に12社（4業種：自動車、医薬品、電気機器、銀行）を選択。尚、銀行は銀行法21条に基づく「ディスクロージャー誌」を使用。

の元の発音に近い表記になってきている（石野 1983）と言える。新聞の表記についてもほぼ「マネジメント」⁴で統一されている。

2 マネジメントの統語的特徴、複合名詞、意味的特徴

2.1 統語的特徴

まず、外来語「マネジメント」のうち、①サ変動詞「マネジメントする」と②名詞または複合名詞の一部としての「マネジメント」にヲ格動詞が接続する「マネジメントを V」の出現数を比較する。

（表 1）「マネジメント」出現数

	AR	BCCWJ
「マネジメント」出現数	194	1,453
サ変動詞「マネジメントする」	2 (1.0%)	50 (3.4%)
名詞(複合名詞)+ヲ格動詞「マネジメントをV」	10 (5.2%)	43 (3.0%)

BCCWJ では、サ変動詞用法が若干多いのに対し、AR では名詞用法「マネジメントを V」の方が多く結果となった。

AR サ変動詞用法

- (1) 業務執行においては、研究・開発・技術・信頼性保証の 4 つの機能軸と、営業部門をマネジメントする地域軸の「マトリックスマネジメント」の仕組みが、事業環境の変化に対応した迅速かつ的確な意思決定を可能にしています。

(アステラス製薬株式会社 p21)

AR 名詞（複合名詞）用法

- (2) また、バリューチェーンに関するポリシーを策定し、お取引先まで含めた CSR マネジメント をスタートしました。

(武田薬品工業株式会社 p83)

更にヲ格動詞が後接する「マネジメントを V」の動詞 V の内訳は以下ようになった。用例数が少ないが、BCCWJ では最も多かった「する」が AR では使用されていない。

⁴ 小椋（2013）は、BCCWJ のレジスター毎の分析から、外来語語末長音の表記のゆれにはレジスターによる差異が見られ、Web・書籍・雑誌では揺れの割合が高い一方、新聞は『外来語の表記』、新聞各社の表記の基準に忠実に従い、表記をかなり統一していると指摘している。

(表2)「マネジメント」に後接するヲ格動詞

	「マネジメント」に後接するヲ格動詞 ()は出現数
BCCWJ	する(11)、行う(5)、やる(3)、欠く(2)、考える(2)、教える(2)等 (*1)
AR	行う(3)、推進する(2)、導入する(1)、スタートする(1)等 (*2)

(*1) 出現回数(1)の動詞Vが18含まれる (*2) 出現回数(1)の動詞Vがこの他 3含まれる

前掲の村木(1982)では、外来語を動詞化した「メモる」「メモする」をそれぞれ「総合的」「分析的」、「メモをする／とる」のようにヲ格が接続するタイプを「迂言的」として、書き言葉では迂言的な表現が好まれ、新聞のニュースや評論において、意味論的にも統語論的にも名詞が文の格になっている名詞表現が多く見られるようだと指摘している。ARにおいても、サ変動詞よりも名詞表現の方がフォーマルで固い印象があり、ビジネス分野に相応しいと考えられる。またヲ格動詞では、BCCWJでは機能動詞(村木1980)「する」が多いのに対し、ARでは「する」が1度も出現せず「行う」「推進する」「導入する」等より実質的な意味を持つ動詞や二字漢語との共起が見られ、具体的な情報が提供されている。

尚、「マネージ」についてはBCCWJでの出現数はサ変動詞「マネージする」(8例)名詞・複合名詞の一部「マネージ」(6例)と共に少なく、またARでは1度も出現が無い。

- (3) わたしは、勝利に向かって突き進むために自分自身をマネージするしかないことを思い知らされた。
(LBm7_00076)

原語[manage]には、「経営する・管理する」という意味以外にも「なんとかやっていく」等の意味がある⁵。上記の例も、「管理する」というよりは後者の「なんとかやっていく」に近いと思われ、8例中4例がこれに該当する。多義語の中でもこのようにインフォーマルな意味を含む語彙については、特にビジネス文書では読者の誤解を招く可能性もあり、あまり馴染まないのではないかとと思われる。

2.2 複合名詞

続いて「マネジメント」の用例として最も多い複合名詞の前項・後項要素を見ていく。今回は要素を重視し、2語複合名詞だけでなく3語、4語複合名詞の一部も集計に含む。ARとBCCWJの上位10語では、前項では「リスク」「環境」「品質」「トップ」「アセット」の5語が共通する。一方、BCCWJでは介護に関連した「ケア」、家政学、福祉分野の「ホーム」が上位に入るのに対し、ARでは「エネルギー」「ポートフォリオ」等の経営資源や資産内容を指す語彙が上位に入った。

⁵ 原語[manage]の意味は『ランダムハウス英和辞典』(第二版)小学館によると以下の通りである。
1) 経営[運営, 管理]する; 世話をする、扱う 2) なんとかやっていく、どうにか暮らしていく、なんとか切り抜けていく、やりくりする 3) (...で) 間に合わせる

ビジネス分野における外来語「マネジメント」に関する一考察
 ー企業の年次報告書を分析対象としてー

(表 3) 「X+マネジメント」(共通する X を灰色掛)

順位	AR		BCCWJ	
	X	出現数	X	出現数
1	リスク	17	リスク	110
2	環境	9	ケア	104
3	トップ	9	環境	73
4	アセット	9	ホーム	58
5	エネルギー	8	品質	56
6	ポートフォリオ	7	トップ	33
7	品質	6	ナレッジ	23
8	サプライチェーン(*)	6	マイクロ	22
9	キャッシュ	5	ケース	22
10	CSR	5	アセット	15

(*) 厳密には1語「チェーン」であるが、意味・慣用を考慮して今回は「サプライチェーン」として掲載する

一方、後項では BCCWJ では「システム」が圧倒的に多いのに対し、AR では「体制」が1位となり「システム」は3位であった。BCCWJ では「研究」「レビュー」「理論」等の学術色の強い語彙が上位に入っているが、AR では「ビジネス」「サービス」等の企業活動そのものを指す語彙のほか、「コミッティ」「委員会」の組織名を指す同義語が含まれた。

(表 4) 「マネジメント+Y」(共通する Y を灰色掛)

順位	AR		BCCWJ	
	Y	出現数	Y	出現数
1	体制	39	システム	153
2	メッセージ	11	能力	11
3	システム	7	体制	10
4	コミッティ	5	研究	10
5	ビジネス	4	レビュー	9
6	サービス	3	理論	8
7	委員(*1)	3	会社	8
8	戦略	2	モデル	6
9	層	2	プログラム	6
10	技術	2	ツール(*2)	5

(*1) すべて「委員会」である

(*2) 10位にはこの他「センター」が含まれる

「マネジメント」を含む複合名詞を構成する要素では、前項には、危険性や損失の可能性を指す「リスク」、一般的に破壊や汚染、不備や欠損等の問題が取り上げられやすい「環境」「品質」等ネガティブな事象を指す語彙が多く、後項にはそれらの管理体系を表す「システム」をとる複合名詞が多い点は、AR 及び BCCWJ に共通している。一方、BCCWJ では学問分野(家政学の「ホーム」、知識論の「ナレッジ」)を指す語彙や、学術的な内容を指す「ケース」「研究」「レビュー」「理論」等のアカデミック語彙との共起が多いのに対し、AR では企業活動における経営資源や組織名等の語彙がビジネス分野との関連性を指していると言える。

2.3 意味的特徴

続いて「マネジメント」の意味を見ていく。辞書では以下のように定義されている。

【マネージメント】

- ① 経営管理。
- ② 経営者。管理者。「トップマネージメント」『日本国語大辞典』（第二版）小学館

【マネージメント】

- ① 企業の経営管理、マネジメントとも
- ② 総称的に経営者、管理者 『コンサイスカタカナ語辞典』（第四版）三省堂

また原語 [management] は以下のように定義されている。

[Management]

- ① the control and organization of something
- ② the group of people responsible for controlling and organizing a company
『Cambridge Advanced Learner's Dictionary 4th Edition』 Cambridge University Press

日本語、英語共に経営を「管理」すること、また、その「管理者・経営者」の2つの意味が記載されている。しかし、原語 [management] では、後者の管理者が the group of people とあり、個人を指すのではなく group であることが明確である点に特徴がある。

では、「マネジメント」が、①「管理」②「経営者」のどちらの意味で用いられているかを分類する。BCCWJ の 1,238 例から無作為抽出した 200 例と AR を比較した。

(表5) 「マネジメント」意味

	用例数			
	AR		BCCWJ	
①管理・経営管理	160	(80.0%)	194	(97.0%)
②管理者・経営者	34	(17.0%)	6	(3.0%)
	194	(100.0%)	200	(100.0%)

AR「管理」の意味

- (4) 国内外の連結会社とも連携を深め、グループ全体でリスクマネジメントの基本的なプロセスやツールの共通化、情報の共有化を進めています。

(日産自動車株式会社 p34)

AR「管理者・経営者」の意味

- (5) 女性マネジメントの育成・輩出については、具体的な目標値「2015年度の女性管理職比率 5.0%」を定めて取り組んでいます。（武田薬品工業株式会社 p62）

BCCWJ「管理」の意味

- (6) 執筆の時間を数日単位で確保するマネジメントが重要なのです。

(PB50_0072)

BCCWJ「管理者・経営者」の意味

- (7) 投資判断素材を適時にかつ正確にディスクローズすることを心がけており、トップ・マネジメントから経営方針を聞き取り、将来動向に関する分析や予測を行い

(PB43_00253)

前掲の外来語言い換え提案では、「マネジメント」がまれに管理する人を指す場合があるがその場合は「管理者」と言い換えられる（下線は筆者が引いた）とある。BCCWJの出現数をみる限り、②管理者・経営者の出現数は非常に少ないが、ARでは17%がこの意味で用いられていることが分かり、ビジネス分野では「経営者」を指す意味での使用が多いといえる。

2.3.1 「管理」の意味

まず、①管理または経営管理の意味については前項で複合名詞として用いられる多くが「リスク」「環境」「アセット」等と共に起して複合名詞を構成している点は指摘した。ここでは、意味の再考に際し、単独の「マネジメント」の用例をみていく。

- (8) この研修は、アジア・太平洋地域の若者たちをオイスカの研修所に迎え入れ、有機農業の技術や、農業経営などマネジメントを1年間かけて学んでもらおうというものです。（三菱UFJフィナンシャルグループ p15）

- (9) 選定された調達先・製造委託先についてはサプライヤーデータベースに登録し、担当する品質保証部門による定期的な監査の結果も併せてデータベース化することにより、グローバルにマネジメントしています。

（武田薬品工業株式会社 p68）

上記(8)(9)の「マネジメント」を「管理」⁶と言い換えると若干違和感を覚える。一般に「管理」は現状を維持し、現行の性質を保ちながら利用することを指す。しかし「マネジメント」は(8)では、農業技術と農業経営という対象を、1年間を費やして習得し能力の伸長を期待するものとしている。また(9)では、調達先・製造委託先情報に加え、その監査結果情報をデータベース化するという複数の事象に対して、「グローバルに」という事業の広範さや拡大を連想させる語彙と共起している。これらから、「マネジメント」には「管理」と比べ現行の維持というよりも、好ましい方向への変化というニュアンスが含まれていると考えられるのではないか。ビジネス分野において好ましい方向への変化とは、まさに企業の成長や発展を指し、これは利潤追求というビジネスの目的にかなっている。したがって、外来語「マネジメント」には企業やビジネスを「発展させる」意味が含まれていると考えられる。

2.3.2 「経営者」の意味

一方、②の経営者・管理者の意味については、企業組織内の誰を指しているのかが問題になる。

(10) 決算説明会では業績報告のほか、参加者からのご質問に対して、当社マネジメントが直接ご回答しています。
(武田薬品工業株式会社 p77)

(11) これまでに、エレクトロニクス商品の販売拠点から製造事業所、研究開発拠点、エンタテインメントや金融の事業所に至るまで、世界16ヵ国45ヵ所のさまざまなソニーグループの拠点を訪問し、数多くの社員や現地のマネジメントと意見を交わしてきました。
(ソニー株式会社 p4)

上記(10)で決算説明会において直接回答する立場にあるのは、一般に代表取締役社長や経理財務を統括する担当役員が想定される。一方(11)では現地子会社の責任者、部門責任者等を指している。また前項の複合名詞の第3位には「トップマネジメント」が入っているが、以下では「トップマネジメント」⁷に組織のトップである代表取締役社長をはじめ、副社長、担当役員が含まれている。

⁶ 「管理」の意味は『国語大辞典』(第二版)小学館によると以下の通りである。①管轄、処理すること。とりしきること。とりしまり。②法律上、財産を保存し、また、その性質を変更しない範囲内でその利用、改良をはかること。③ものの状態、性質などがかわらないよう、保ち続けること。④事務を経営し、設備の維持、管轄にあたること。

⁷ 「トップマネジメント体制」には社長・副社長をはじめ3人の担当役員が含まれることが記載されている(p80)

- (12) なお、グローバル経営会議は、トップマネジメントのほか、各機能および地域の責任者で構成されています。(アステラス製薬株式会社 p80)

以上「マネジメント」は、組織における責任ある立場の人を指すことに変わりはないが、経営者の指す範囲は必ずしも同一ではなく、「本社」「子会社」「部門」等の規模や階層も異なる組織を対象にする点に特徴がある。また、原語 [management] には the group of the people とあるように、日本語においても必ずしも一人の経営者を指すわけではなく、単数・複数の経営者を指す。まず、経営者自身による説明や回答の場面、役職者の組織や構成を説明する場面では、「マネジメント」が「管理」ではなく「経営者」を指す意味で使われることがある。そのうち、企業の本社の視点からは代表取締役社長やその他担当役員を指すことが多いが、特に「現地の」「部門の」「女性の」等、本社から規模を引き下げたり特定のグループや層に限定するような修飾句がある場合等は、該当する組織の責任ある立場の人を指していると言える。

3 類義語との比較

次に「マネジメント」の意味的特徴を更に明らかにするため、類義語との比較を試みる。「マネジメント」の類義語として、漢語では「管理」「経営」「運営」「指導」「采配」、和語では「取り締まり」「切り盛り」等が挙げられる。AR における出現数の多いものとして、漢語の「管理」「経営」、和語の「取り締まり」をみると以下の通りとなる。どの語彙も名詞または複合名詞の一部としての出現が多い。和語の「取り締まり」は、ほとんどが「取締役」とその複合名詞のみの用例であった。そこで今回は「マネジメント」の類義語として「管理」「経営」に着目する。

(表 6) 「マネジメント」類義語と出現数

形態	外来語	漢語		和語
	マネジメント	管理	経営	取り締まり
動詞 (マネジメントする、管理する、経営する、取り締まる)	2	78	1	1
名詞または複合名詞の一部	192	1,038	991	(*)391
合計	194	1,116	992	392

(*) すべて「取締役」単独または「取締役」を含む複合名詞であった

3.1 AR における「マネジメント体制」と類義語

「マネジメント」の類義語として「管理」「経営」の 2 語複合名詞の内訳は以下のようになり、後部要素に「体制」が接続するケース（「マネジメント体制」「管理体制」「経営体制」）が 3 語に共通して見られた。したがって、この 3 語を中心に類義語の特徴をみていく。また分析に際し、対象語彙が AR 中のどの構成項目に出現しているか、出現位置についても注目する。

(表7) 「マネジメント」「管理」「経営」の2語複合名詞

	マネジメント	管理	経営(*)
1	マネジメント体制 (31)	リスク管理 (115)	経営成績 (82)
2	トップマネジメント (7)	管理体制 (19)	経営者 (72)
3	リスクマネジメント (6)	危機管理 (10)	経営会議 (33)
4	環境マネジメント (4)	品質管理 (8)	経営基盤 (25)
5	品質マネジメント (3)	経営管理 (7)	経営資源 (21)
5	—	与信管理 (7)	経営陣 (21)

(*)「経営体制」は出現頻度(9)、「経営」の複合名詞14位であった ()は出現頻度数

①【マネジメント体制】

「マネジメント体制」は31回出現するが、すべてAR中の「見出し」としての使用で、見出し以外の本文中には1度も使用されていない点に大きな特徴がある。例えば、日立製作所では「株主の皆さまへ」「特集」「財務ハイライト」「セグメント情報」「研究開発・知的財産」「マネジメント体制」「財務セクション・データ」という見出しの一つとして使用され、「マネジメント体制」の箇所では、取締役会、執行役、経営者会議の機能について解説している。またトヨタ自動車でも、「経営・会社情報」という項目の更に下位項目として「研究開発・知的財産」「企業理念」「コーポレートガバナンス」「マネジメント体制」「事業等のリスク」があり、「マネジメント体制」には取締役、執行役、監査役の役職名、名前、プロフィールが掲載されている。「マネジメント体制」は、主に企業の取締役をはじめとする経営トップの紹介、それぞれの統括部門やその機能に関する内容を指している。

②【管理体制】

「管理体制」は19回出現する。以下の用例には、出現項目の情報を()内に合わせて表示する。

- (13) このように、<みずほ>では、各グループ会社内とグループ全体でPDCAサイクルが回るような管理体制を構築しています。

(みずほフィナンシャルグループ p41「CSR(企業の社会的責任)への取り組み」)

- (14) 当グループのうち、管理対象業務を行う会社を、利益相反管理の対応を要する会社とし、管理体制を整備いたします。

(三菱UFJフィナンシャルグループ p20「グループ経営管理体制」)

「管理体制」の使用例は、管理の具体的内容や対象を前節で説明していることが多い。内容は、上記(13)(14)に見られるような「PDCAサイクル」や「利益相反管理の対応」といった明確で実践的な内容である。また、取締役等の経営トップ層のみによる「管理」

というよりも、全社を挙げて、企業の全階層に跨って「管理」組織が存在することを説明しているという点に特徴がみられる。尚、「管理体制」が出現する構成項目は、管理の対象（財務、情報、信用等）や事業に応じて多岐に亘っている。

③【経営体制】

「経営体制」は、意味としては企業の代表取締役社長を中心とする経営トップによる組織を指す点で「マネジメント体制」との共通点がみられる。しかし「マネジメント体制」が組織内の構造や機能についての説明に用いられるのに対し、「経営体制」は企業活動を行う主体として、経営者のビジョンや経営目標、またどのように実践していくのかという具体的内容と共に用いられている点に特徴がある。また出現頻度の合計が9回と用例数が少ないため分析に厳密さを欠くが、9回のうち3回は「会長・社長挨拶」や「社長メッセージ」の項目で使用されている。

(15) 2012年4月に新たな経営体制を編成し、私は経営資源の最適化と事業ポートフォリオの見直しに着手しました。 (ソニー株式会社 p5「CEO メッセージ」)

(16) 新たな経営体制のもと変革のスピードを上げ、早期の業績回復と将来にわたる事業競争力の再構築を目指してまいります。
(パナソニック株式会社 p5「会長・社長挨拶」)

また、以下の日立製作所では「社長挨拶」に続く経営計画概要を説明する「特集」で3回使用されている。社長挨拶に続いて経営計画概要について「ご説明します」とあり、社長が引き続いて発信していると捉えるのが自然であると考えられる。これらを考慮すると、全9例のうち6例が経営者の挨拶の項目において使用されている点は、興味深い。経営トップ自身が発信する言葉として使用されることが多いという特徴があると思われる。

(17) 今後、日立は、6グループを中心とした経営体制で運営していきます。
(株式会社日立製作所 p12「特集」)

【マネジメント体制】【管理体制】【経営体制】をまとめると以下のようなになる。意味の面では、「マネジメント体制」と「経営体制」が、経営陣による企業運営の枠組み・構造を指すが、「マネジメント体制」が経営陣の紹介を中心に統括組織の機能に関する説明に用いられるのに対し、「経営体制」は企業運営の主体としてどのような企業活動を行っていくかという具体的説明と共に用いられる。これに対し「管理体制」は必ずしも経営トップに限定しない全社的、全階層に亘る組織を指し、個別の事象に対して具体的な対応や方法を指すことが多い。用例の特徴として、AR中の構成項目の出現位置に着目すると「マネジメ

ント体制」は AR の見出しとしてのみ使用され、「経営体制」は社長挨拶、経営者メッセージ等の経営者自身から直接、発信される言葉として用いられることが多いと思われる。

(表 8) 「マネジメント体制」と類義語の意味・特徴

	マネジメント体制	管理体制	経営体制
意味	社長をはじめとする経営陣による企業運営の構造。組織の機能重視。	具体的事象に対応する全社的、全階層的な組織。	社長をはじめとする経営陣による企業運営の構造。企業活動の内容重視。
特徴	「見出し」としての使用。象徴的。	対象とする事業(財務、情報、信用等)に応じて用例範囲が広い。	「社長挨拶」等、経営トップ自身から発信。具体的。

3.2 BCCWJ との比較

3.1 の AR における特徴を更に検証するため、BCCWJ における 3 語の用例を確認する。前項と同様、いずれも 2 語複合名詞のみを対象としてレジスター毎の出現数をみると、以下のようになる。「マネジメント体制」の出現数はわずか 6 例で書籍のみであるのに対し、「管理体制」は白書や書籍に多く、「経営体制」は国会会議録に多いことが分かる。

(表 9) BCCWJ レジスター毎の出現数

	マネジメント体制	管理体制	経営体制
出版・雑誌		1 (1%)	2 (8%)
出版・書籍	6 (100%)	31 (36%)	3 (13%)
出版・新聞		2 (2%)	1 (4%)
図書館・書籍		8 (9%)	5 (21%)
特定目的・ベストセラー		2 (2%)	(0%)
特定目的・ブログ		(0%)	2 (8%)
特定目的・国会会議録		5 (6%)	9 (38%)
特定目的・知恵袋		3 (3%)	(0%)
特定目的・白書		32 (37%)	2 (8%)
特定目的・法律		3 (3%)	(0%)
合計	6 (100%)	87 (100%)	24 (100%)

まず「マネジメント体制」は全 6 例が「出版・書籍」での出現であったが、うち 2 例が書籍の中で要点をまとめた箇条書きであった。またもう 1 例は以下 (19) のように、「まず、第 1 に」という文中に出現し、後に続く文章で内容説明がなされていた。

(18) 2 クリエーションを収益に結び付けるマネジメント体制を構成する

(PB15_00139)

(19) まず、第 1 にマネジメント体制の問題があります。

(PB55_00175)

AR における「見出し語」とは状況が異なるが、全 6 例中 3 例が文中の「まとめ」に相当する箇所で象徴的に用いられている点は、興味深い。

次に「管理体制」は「白書」に最も多く、「出版・書籍」が続いている。特に「白書」に多く出現するのは、公的機関が国民生活に関連した様々な事象に対して基準から外れないように運営していくこと知らせているものである。

(20) 国立公園の管理体制を強化するため、国立公園管理委員の増員につとめる。

(OW2X_00172)

最後に、「経営体制」は「国会会議録」に多い。用例を見ていくと国会議員は、企業経営者ではないものの、組織の上層に立つ当事者の立場からの一政策として、企業の運営案を述べている。

(21) このような体制整備によりまして今後、大光相互銀行を健全な経営体制に持っていきたい、このように考えているわけでございます。(OM11_00004)

以上、BCCWJでの用例数が少ないため分析には厳密さを欠くが、3語の出現レジスターの偏在とその用例を見る限り、「マネジメント体制」が統括機能の象徴的な説明として、一方の「経営体制」は当事者からの具体的な政策説明として、また「管理体制」が広範な事象に対して用いられるという、大よそ前項のARでの特徴と類似の傾向がみられると思われる。

3.3 考察

「マネジメント体制」「管理体制」「経営体制」の3語には、それぞれ異なる意味的特徴と用法が確認できる。これらからは、更に外来語の語種が持つ一つの修辭的特徴が推察される。

まず、複合名詞「マネジメント体制」の「外来語＋漢語」という語構成に着目する。森岡（1987）は漢字形態素と外来語形態素が結合しやすいこと、また林（2003）は二単位の漢語複合語基が後項に位置する方が造語力を発揮していること、更に外来語語基が厳密な意味を備えている安定した語形の漢語複合語基の前に来て、その漢語複合語基を修飾し限定しやすいと指摘している。つまり語構成としての「マネジメント体制」は、後項の漢語「体制」が厳密な意味を備えた安定した語形と言える。

しかし「マネジメント体制」がARの「見出し」として使用される理由の1つは、このような語構成ではむしろ前項の外来語にこそ視覚的インパクトがあり、焦点が当てられているからではないだろうか。カタカナがもたらす視覚効果について、石黒（2007）は（平仮名や漢字では無い）カタカナという文字が難しい漢字をやさしくしたり、本来平仮名や漢字で表記される言葉を目立たせたり、形式名詞等の特定の品詞が機能的な語であることを指摘している。外来語「マネジメント」単独の一語よりも、複合名詞「外来語＋漢語」

のように後項に漢語が位置することで、前項の外来語「マネジメント」がより一層際立ち、視覚的効果がはたらいっていると考えられる。このような視覚効果は、外来語語彙そのものが持つ新しいイメージ（文化庁 1997）はじめ、特にビジネス分野に好まれる国際性や洗練さ、そしてスピード感をより強く創り出していると言えるだろう。更に、一般に専門性が高く複雑な企業経営の内容を含むビジネス文書において、「トピック」が効果的に提示されることによって、読者が文書の要点をよく理解する一助となる役割があると考えられる。「マネジメント体制」が見出し語として使用される理由は、「外来語＋漢語」という語構成にこのような「見出し効果」があるからではないかと考える。

一方、外来語を含む表現は「見出し」に用いられるが、本文の説明には類義の漢語表現が用いられていた。より説得力のある説明には漢語表現が好まれていると推察される。実際に経営者自身から直接発せられる言葉として「経営体制」が用いられるのは、漢語の「経営」に外来語には無い堅実さ、力強さがあるからではないだろうか。また「管理体制」は全階層的に具体的事象に対して用いられていた。外来語「マネジメント」では、具体的対応のイメージに乏しく分かりづらいという一面があるのに対し、漢語の「管理」には処理の精密さ、対応の正確性という印象があるのではないか。ビジネス分野において、企業は非常に戦略的に語彙を選択している様子が垣間見えると言える。

4 日本語教育への応用

ビジネス日本語を学ぶ学習者に対し、ビジネス分野における外来語「マネジメント」の統語的、意味的特徴が他分野とはどう異なるかを提示することによって、学習者が効率よく企業情報を収集し、日々のビジネスを深く理解することが期待できる。特に修辭的な特徴に関する理解は、より効果的に読解を進める一助となるだけでなく、学習者自身がビジネス文書を作成する際にも重要な知識であると考えられる。

5 今後の課題

今回取り上げた外来語「マネジメント」については、AR の構成項目毎に横断的な視点で分析を深めていくことが不可欠であり、AR のデータベースを拡充し用例数を増やして検証していくことと合わせて今後の課題としたい。また修辭的特徴については、外来語を含む他の語構成についても一般化できるかを更に検証する必要があると認識している。

参考文献

- 石黒圭 (2007)『よくわかる文章表現の技術V 文体偏』明治書院
石野博史 (1983)『現代外来語』大修館書店
小椋秀樹 (2013)「外来語語末長音の表記のゆれについて」第4回コーパス日本語学ワークショップ予稿集、pp.243-248、国立国語研究所

ビジネス分野における外来語「マネジメント」に関する一考察
—企業の年次報告書を分析対象として—

- 北澤尚 (2012)「現代日本語における外来語の品詞性について」『学芸国語国文学』44、pp.1-13、東京学芸大学国語国文学会
- 国立国語研究所「外来語」委員会 (2006)『わかりやすく伝える 外来語言い換え手引き』ぎょうせい
- 澤田田津子 (1993)「日本語教育のための基本外来語について」『奈良教育大学紀要 (人文・社会科学)』42 : 1、pp.225-239、奈良教育大学
- 陣内正敬・田中牧郎・相澤正夫 (2012)『外来語研究の新展開』おうふう
- 文化庁 (1997)『新「ことば」シリーズ 6 言葉に関する問答—外来語編』大蔵省印刷局
- 村木新次郎 (1980)「日本語の機能動詞表現をめぐって」『研究報告集』2、pp.17-75、国立国語研究所
- 村木新次郎 (1982)「外来語と機能動詞—「クレームを つける」「プレッシャーを かける」などの表現をめぐって—」『武蔵大学人文学会雑誌』13 : 4、pp.226-211、武蔵大学人文学会
- 森岡健二 (1987)『現代語研究シリーズ第一巻 語彙の形成』明治書院
- 林慧君 (2003)「外来語成分を含む混種語の和語・漢語成分について—翻訳混種語と和製混種語との比較から—」『台大日本語文研究』5、pp.164-190、台湾大学日本語文学系

(さの あやこ 言語社会研究科博士後期課程二年)